

授業科目(ナンバリング)	社会学(AD111)			担当教員	大島 啓		
展開方法	講義	単位数	2 単位	開講年次・時期	1 年・後期	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
<p>本講義の目的は、社会的存在として人間を理解する視点を身につけることである。具体的には、人間をその置かれた社会的な環境（経済的・政治的・文化的環境および社会関係の総体）から捉える視点を獲得することである。</p> <p>家族・ジェンダー・少子化・社会階層・逸脱（犯罪）・自殺・宗教などの具体的なテーマをもとにして、人間と社会の関係性やその相互作用について学び、社会理解の基礎的な視角を身につけることを目指す。</p>							②
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標					評価手段・方法	評価比率
専門力	<p>社会学的な「人間の捉え方」、「社会現象の見方」を習得することにより、自身の身近にある事柄を社会と関連づけて考えることができる。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内レポート</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>20%</p> <p>10%</p>
情報収集、分析力	<p>家族、少子化、逸脱（犯罪）、階層、自殺など、現代日本社会の趨勢や諸特徴をその原因と共に説明することができる。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>授業内レポート</li> <li>定期試験</li> </ul>	<p>10%</p> <p>60%</p>
コミュニケーション力							
協働・課題解決力							
多様性理解力							
出席					受験要件		
合計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>「定期試験」では筆記試験を実施する（評価比率 70%）。穴埋め問題を出す。定期試験では、現代日本社会の趨勢および社会学の基礎的な概念や理論についての理解を問う（持ち込み不可）。</p> <p>また、随時、講義内容の理解度を問う授業内レポートにおいては、現代社会の課題に対応できる思考力を確認し、良い回答や質問があれば評価の対象とし（評価比率 30%）、授業内にコメントする形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>板書を伴う講義形式で授業を進め、家族、少子化、逸脱（犯罪）、階層、自殺、宗教などに関する理論・概念・データ・映像資料をテーマごとに提示することにより講義を展開する。</p> <p>社会福祉学科に所属する学生以外は履修できない（社会福祉学科への転学科予定者は可）。この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、180 分とする。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：指定はしない。適宜資料を配布する。</p> <p>参考書：A. ギデンズ（松尾精文ほか訳）『社会学 第 5 版』而立書房（2009）。</p> <p>指定図書：社会福祉士養成講座編集委員会編『社会理論と社会システム 第 3 版』中央法規（2015）</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>こまめに新聞やニュースに目を通して世の中の出来事を知り、それらを本講義で学んだ視点から考えてみてください。</p>							

回	テ ー マ	授 業 の 内 容	予 習 ・ 復 習
1	イントロダクション、社会学とは何か	講義概要の説明、社会学という学問の概説	復習：配布資料を再読する。
2	社会（科）学の基礎的思考法	因果関係・相関関係・疑似相関など、科学的思考法を学び、社会の諸事象を因果で結ぶトレーニングをする。	復習：配布資料を再読し、学んだ事柄を現実の社会現象に適用する。
3	家族社会学	家族の定義・類型・機能を学んだ後、個人—家族—地域（共同体）—社会（国家）の関係性について理解する。	予習：家族の機能について考察する。 復習：配布資料の再読。
4	ジェンダー	ジェンダー、性別役割分業、近代家族について学んだ上で、近代化・産業化が家族のあり方（およびその前提であり結果であるジェンダー観）をどのように変容させたのかについて理解する。	予習：近代家族について調べる。 復習：配布資料の再読。
5	少子（高齢）化	少子化（およびその結果としての高齢化）の趨勢やその背景について学ぶ。	予習：少子化が進む背景について調べる。 復習：配布資料の再読。
6	離婚	離婚に関する統計データを確認した後、なぜ一時期離婚率が低かったのかについて考える。	予習：3-4回目の講義資料を熟読してくる。
7	社会的逸脱論（犯罪の社会学）①	日本における犯罪発生件数を、罪状別・経年的に学び、その背景について理解する。	復習：配布資料を再読する。
8	社会的逸脱論（犯罪の社会学）②	逸脱（犯罪）の発生に関する理論（マートンのアノミー論、ラベリング理論）について学ぶ。	復習：配布資料を再読する。
9	自殺の社会学①	日本における自殺者の属性と自殺率の推移、その背景について学ぶ。	復習：配布資料を再読する。
10	自殺の社会学②	自殺が生じる社会的なメカニズムについて、E. デュルケムの『自殺論』をもとに考える。	復習：配布資料を再読する。
11	社会階層論	社会階層という概念と階層の分類方法を学ぶ。また、属性主義・業績主義について学び、双方の視点から社会階層について考える。	予習：社会的不平等について。 復習：配布資料の再読。
12	社会構想	ベーシックインカムを事例として取り上げ批判的に考えることにより、様々な社会問題の解決策を探る。	予習：ベーシックインカムについて。
13	宗教と科学の社会学①	宗教の定義・類型・基礎知識について学んだ後、統計データから宗教について考える。また、M. ウェーバーの宗教論について学ぶ。	復習：配布資料を再読する。
14	宗教と科学の社会学②	宗教が存在する理由を、主に宗教の社会的な機能という側面から考える。	復習：配布資料を再読する。
15	まとめ	各回で学んだことの振り返りとまとめ。	復習：各回の配布資料すべてに目を通す。
16	定期試験		